

## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月9日

上場会社名 セントケア・ホールディング株式会社

上場取引所 東

コード番号 2374 URL <http://www.saint-care.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 瀧井 創 TEL 03-3538-2943

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト及び機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	25,003	5.8	1,238	△12.9	1,246	△10.2	597	△23.3
26年3月期第3四半期	23,632	10.2	1,421	18.4	1,387	14.4	779	16.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 607百万円 (△22.5%) 26年3月期第3四半期 783百万円 (17.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	83.11	82.29
26年3月期第3四半期	108.39	107.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	16,845	5,899	33.9
26年3月期	15,319	5,293	33.6

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 5,703百万円 26年3月期 5,141百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	25.00	25.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,559	6.7	1,932	12.4	1,850	9.4	1,009	5.2	140.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

27年3月期3Q	7,188,600株	26年3月期	7,188,600株
27年3月期3Q	38株	26年3月期	38株
27年3月期3Q	7,188,562株	26年3月期3Q	7,188,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済が一部に弱さを残しつつも先進国を中心に回復しているなか、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響も全体として和らいでおり、緩やかな回復基調が続いております。

介護サービス業界では、引き続き国内の高齢化が進むなか、介護サービス受給者数及び介護給付費が増加し、介護サービス需要は高まっております。その一方で、看護師等の有資格者をはじめ、人材の確保が難しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループでは、人材採用を引き続き強化すると同時に、平成26年10月に株式会社アールスタッフを連結子会社化するなどの事業規模の拡大に伴い売上が増加しました。しかしながら、人件費や消費税率引上げに伴う控除対象外消費税額等（仕入税額控除のできない仮払消費税等の額）の売上原価が増加し、また、新規事業の立ち上げに伴う子会社設立等により販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、売上高は250億3百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は12億38百万円（同12.9%減）、経常利益は12億46百万円（同10.2%減）、及び四半期純利益は5億97百万円（同23.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります（セグメント間取引を含む）。

#### ・介護サービス事業

施設系サービスでは、主に前連結会計年度に開設したショートステイやグループホームで集客が進みました。訪問系サービスでは、顧客獲得に注力した結果、全体的にお客様数の増加につながりました。また、株式会社アールスタッフの連結子会社化により主に訪問介護サービスの事業規模が拡大しました。この結果、売上高は242億58百万円（前年同期比5.3%増）となりましたが、その一方でサービス提供に必要な人材確保や管理体制の強化を目的として、正社員雇用を促進したことなどにより人件費が増加しており、営業利益は9億19百万円（同20.4%減）となりました。

#### ・その他

その他では、セントワークス株式会社において介護保険請求ASPシステムの販売が順調に推移した結果、売上高は10億62百万円（同17.8%増）、営業利益は1億42百万円（同31.5%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末（以下「前期末」という）より15億26百万円（前期末比10.0%）増加し、168億45百万円となりました。

流動資産は、前期末より7億84百万円（同12.5%）増加し、70億76百万円となりました。これは主に売掛金が7億46百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前期末より7億43百万円（同8.3%）増加し、96億70百万円となりました。これは主に有形固定資産が6億20百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前期末より3億52百万円（同7.8%）増加し、48億66百万円となりました。これは主に未払金が3億9百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前期末より5億67百万円（同10.3%）増加し、60億80百万円となりました。これは主にリース債務が6億63百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前期末より6億5百万円（同11.4%）増加し、58億99百万円となりました。これは主に利益剰余金が5億51百万円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績を踏まえたうえで、通期の業績予想については、平成26年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。今後、何らかの事情により業績予想から変更が生じた場合には適切に開示してまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結累計期間より、セントメディカルサービス株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

同様に、当第3四半期連結累計期間より、当社の連結子会社である株式会社福祉の街が株式会社アールスタッフの全株式を取得し、子会社化（当社の孫会社化）したため、連結の範囲に含めております。また、ケアボット株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を単一の加重平均割引率を使用する方法（デュレーション法）へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加算しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が202,795千円減少し、利益剰余金が130,519千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ16,659千円増加しております。

##### （有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産（建物及びリース資産を除く）の減価償却方法について、従来、当社グループは定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、近年の施設系サービスの増加により、施設系設備への投資が継続して高水準で推移していることを契機とし、見直しを行ったものであります。

当該見直しの結果、収益は長期安定的であること、修繕費が平準的に発生していること、今後も有形固定資産の安定的な利用が見込まれることを総合的に勘案し、定額法を採用した方が収益と費用の対応関係がより適切となり、当社グループの経営実態をより適切に反映させることができると判断し、第1四半期連結会計期間において有形固定資産（建物及びリース資産を除く）の減価償却の方法を定率法から定額法へ変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ56,018千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,936,534	2,085,591
売掛金	3,548,000	4,294,442
たな卸資産	88,308	84,408
繰延税金資産	230,665	151,908
その他	497,222	468,970
貸倒引当金	△8,909	△9,188
流動資産合計	6,291,820	7,076,132
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	1,986,171	1,954,653
リース資産(純額)	2,576,371	3,164,008
その他(純額)	455,413	520,170
有形固定資産合計	5,017,957	5,638,832
<b>無形固定資産</b>		
のれん	636,169	618,308
リース資産	25,183	17,645
その他	352,850	494,848
無形固定資産合計	1,014,203	1,130,803
<b>投資その他の資産</b>		
差入保証金	1,981,752	2,058,501
その他	914,091	843,198
貸倒引当金	△854	△584
投資その他の資産合計	2,894,990	2,901,115
固定資産合計	8,927,150	9,670,750
繰延資産	100,473	98,716
資産合計	15,319,445	16,845,599

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	364,775	379,004
短期借入金	-	130,000
1年内返済予定の長期借入金	853,142	929,778
リース債務	108,522	122,030
未払金	2,003,785	2,313,154
未払法人税等	456,851	196,278
賞与引当金	344,260	184,879
その他	382,160	610,967
流動負債合計	4,513,497	4,866,092
固定負債		
長期借入金	1,701,647	1,756,546
リース債務	2,676,429	3,340,360
退職給付に係る負債	854,085	751,102
資産除去債務	54,430	56,706
その他	225,832	175,538
固定負債合計	5,512,425	6,080,253
負債合計	10,025,922	10,946,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,009,839	1,009,839
資本剰余金	841,789	841,789
利益剰余金	3,362,062	3,913,230
自己株式	△57	△57
株主資本合計	5,213,632	5,764,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,388	16,202
退職給付に係る調整累計額	△85,850	△77,252
その他の包括利益累計額合計	△72,461	△61,050
新株予約権	45,857	57,436
少数株主持分	106,493	138,067
純資産合計	5,293,522	5,899,254
負債純資産合計	15,319,445	16,845,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	23,632,868	25,003,121
売上原価	20,238,631	21,617,854
売上総利益	3,394,237	3,385,266
販売費及び一般管理費	1,972,247	2,146,778
営業利益	1,421,989	1,238,488
営業外収益		
受取利息	4,903	5,087
受取配当金	1,546	2,832
受取保険金	13,770	12,965
受取家賃	9,553	11,367
補助金収入	14,164	50,136
助成金収入	19,537	31,904
その他	12,621	21,117
営業外収益合計	76,098	135,411
営業外費用		
支払利息	90,344	108,256
その他	20,474	19,424
営業外費用合計	110,819	127,680
経常利益	1,387,268	1,246,219
特別利益		
固定資産売却益	4,357	203
補助金収入	30,000	2,115
特別利益合計	34,357	2,318
特別損失		
固定資産売却損	—	82
固定資産除却損	6,712	4,069
固定資産圧縮損	30,000	1,880
投資有価証券評価損	2,825	—
特別損失合計	39,538	6,032
税金等調整前四半期純利益	1,382,087	1,242,505
法人税等	603,807	646,724
少数株主損益調整前四半期純利益	778,280	595,780
少数株主損失(△)	△921	△1,648
四半期純利益	779,201	597,429

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	778,280	595,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,212	2,813
退職給付に係る調整額	—	8,597
その他の包括利益合計	5,212	11,411
四半期包括利益	783,493	607,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	784,414	608,840
少数株主に係る四半期包括利益	△921	△1,648

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

連結子会社の第三者割当増資及び連結範囲の変更

当社の連結子会社であるセント・プラス少額短期保険株式会社(以下、「セント・プラス」)は、平成27年2月3日開催の同社臨時株主総会において地域ヘルスケア産業支援ファンド投資事業有限責任組合(以下、「地域ヘルスケア産業支援ファンド」)と当社を引受先とし、第三者割当増資を実施することを決議いたしました。

1. 第三者割当増資の理由及び経緯

当社の連結子会社であるセント・プラスは公的な介護保険制度を補完する保険商品を開発、提供することを目的として、平成22年7月に設立されました。

この度の第三者割当増資は、セント・プラスにおいて財務基盤及び保険商品の販売拡大の営業力を強化するための資金を必要としていたところ、「ヘルスケア産業を対象として地域経済の活性化、雇用の創出に資する事業者を支援すること」を組成目的とする地域ヘルスケア産業支援ファンドの投資対象事業とセント・プラスの事業が合致したため、地域ヘルスケア産業支援ファンドが増資の引受に至ったものです。

セント・プラスの財務基盤及び販売拡大のための営業力の強化を図り保険商品を拡販することを通じて、要介護者とそのご家族の在宅介護の不安や経済的負担を軽減し、地域ヘルスケア産業の活性化に貢献して参ります。

また、財務基盤の強化の一環として、当社を引受先として、当社の同社に対する債権である貸付金60百万円を現物出資する方法(デット・エクイティ・スワップ)による第三者割当増資も行います。

2. 第三者割当増資の概要

(1) 普通株式の発行の概要

発行株式数	普通株式 4,950株
発行方法	第三者割当
発行価格	1株につき金40,000円
増資後発行済株式数	普通株式 8,000株
資本の増加額	99百万円
払込期日	平成27年2月10日
割当先	地域ヘルスケア産業支援ファンド投資事業有限責任組合 普通株式 3,450株、セントケア・ホールディング株式会社 普通株式1,500株

(2) 配当優先株式の発行の概要

発行株式数	種類株式 1,550株
発行方法	第三者割当
発行価格	1株につき金40,000円
増資後発行済株式数	種類株式 1,550株
資本の増加額	31百万円
払込期日	平成27年2月10日
割当先	地域ヘルスケア産業支援ファンド投資事業有限責任組合
その他	議決権を有しない株式です。 平成33年6月30日以降に現金を対価とした償還請求及び普通株式を対価とした転換請求が可能です。

3. 異動する子会社の概要 (平成27年2月9日現在)

名称	セント・プラス少額短期保険株式会社
所在地	東京都中央区京橋二丁目8番5号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 和田光正
事業内容	少額短期保険業
資本金	167百万円
設立年月日	平成22年7月6日

4. 第三者割当増資後の所有株式の状況

異動前の所有株式数	普通株式2,250株 (発行済株式総数 : 3,050株) (当社の議決権の数 : 2,250個) (当社の議決権の所有割合 : 73.8%)
増資による発行株式数	普通株式4,950株 (議決権の数 : 4,950個) ※当社の引受株式数 : 1,500株
異動後の所有株式数	普通株式3,750株 (発行済株式総数 : 8,000株) (議決権の数 : 3,750個) (議決権の所有割合 : 46.9%)

5. 連結範囲の変更

当社のセント・プラスに対する持ち分比率が低下するため、セント・プラスは当社の特定子会社から外れ持分法適用会社に異動いたします。